

北斗七星の呼び名

現在日本で最も一般的に使われている「北斗七星」という呼び名は、もともと中国で使われていた名称です。北斗七星とは「北のひしゃくの7つの星」という意味で、生をつかさどる南斗六星(いて座の一部)に対して、死をつかさどる仙人をあらわすとされていました。アラビアではひしゃくの升を「父の遺体を入れた棺」、柄の3つの星を「3人娘」と見ていました。父を殺したのは「人殺し」とよばれる北極星で、残された娘たちは棺とともに「人殺し」の周りを毎日回っているという不気味なお話が伝わっています。日本では、中国から伝わった「北斗七星」をはじめ、「七つ星」「ひしゃく星」「大ひしゃく」「四三の星(さいころの目の三と四)」「舵星」「船星」「七曜の星」など、さまざまな呼び方をされてきました。この中でも、特にわたしたちになじみのある名前が「北斗七星」と「ひしゃく星」です。水は、わたしたち人間はもちろん、生物が生きていくために絶対に必要なものです。昔の人々は、そのような水を汲む道具であるひしゃくを、とても神聖なものと考えていました。現在では、私たちの身の回りから、ひしゃくはほとんど姿を消してしまいましたが、それでも気をつけてみると、ひしゃくは現在でも、神社やお寺の入り口にあるお清めの水場や、茶道でお釜からお茶をたてる湯をくむ時、大相撲で勝った力士が次の取り組みにのぞむ力士に渡す「力水」を満たす時などに使われています。そう考えると現在でもひしゃくは神聖なものとして扱われており、その名前と呼ばれてきた北斗七星はやはり、現在のわたしたちにとっても特別な星といえるのではないのでしょうか。
(StarWatching Express「vol.23 北斗七星の呼び名」より)

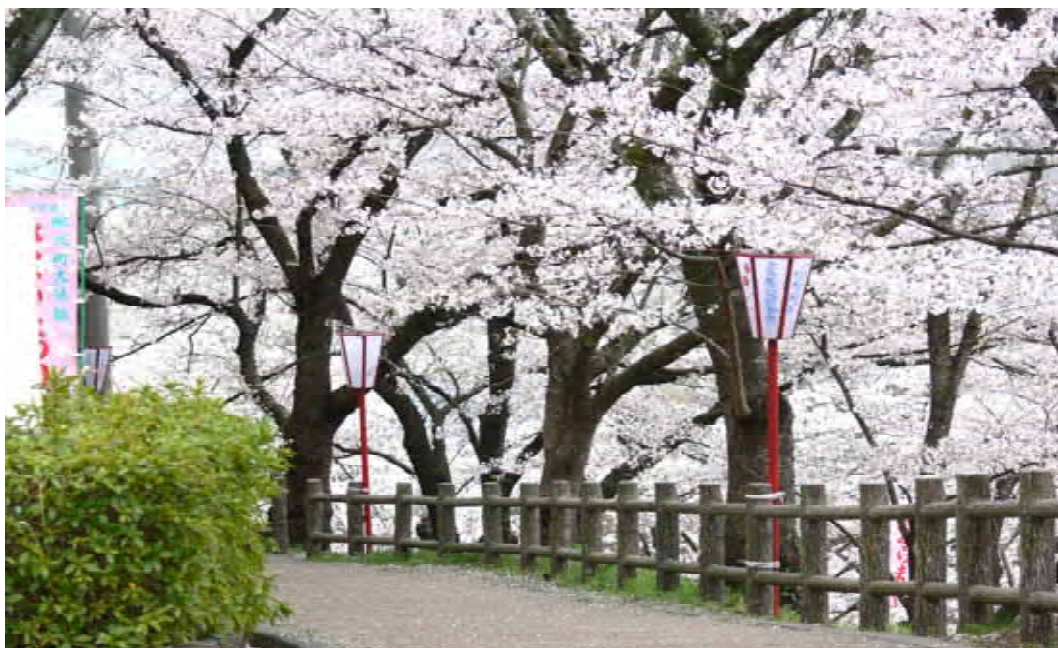
地震の話(1)

南海トラフ地震が明日に起きてはならないと言われて20年が経過しました。



地震名	年月日	M	震源域
永長東海	1096.12.17	8.3	CD
康和南海	1099.2.22	8.2	AB
康安南海	1361.8.3	8.3	ABC
明応東海	1498.9.20	8.3	CDE
慶長南海・東海	1605.2.3	7.9	ABCD
宝永南海・東海	1707.10.28	8.4	ABCDE
安政東海	1854.12.23	8.4	CDE
安政南海	1854.12.24	8.4	AB
昭和東南海	1944.12.7	7.9	CD
昭和南海	1946.12.21	8.0	AB

これ
は「梨
-ム
御
」の
同



すっぴん！思わず感動の声があつてしまうほど。
 - 一面みごとは桜。桜。桜に匂か込まれた山 - 大法師公園 -
 おまつり広場(?)で初めく食べた十谷名物 みみ も、とくもあつてくる
 心もお腹も幸せな春の一日でした。
 (みみ...とは、ご存知の方も多々と思ひますので、飯沢月ほうとうで、
 小麦粉をぬる、伸ばし、莢型にして、麵の代わりに入れても可です。)

健康診断？...

近頃、井戸の水の出が悪くなった、濁る等の症状がありましたか！.....

上記のような症状があれば、是非、井戸の健康診断をしてみても如何でしょう。
 水中テレビカメラ等により井内の状況を的確に判断し、長年培った技術と最適な方法で井戸掘削時のような状態に戻しましょう。
 水資源は大切なものです、定期的な点検で長いお付き合い。
 井戸も生きています手遅れになる前に是非ご相談ください。

水質等でお悩みの方も是非ご相談ください。

TEL 055 - 242 - 0415 FAX 055 - 241 - 6615

E-mail : yamanashi@sakusen.co.jp

株式会社サクセン山梨営業所
 甲府市堀之内町818-2

水中ポンプ等の調子が悪いときご連絡ください。

早急に対応いたします。